

2. 甲南第一、甲南第二、甲南第三、中部、希望ヶ丘地域

(1) まとめ

- 役員の担い手不足や清掃活動の負担増が課題である。慣習（冠婚葬祭、神社祭典等）についても、現代にあった形に変えていく必要があるとの意見もあった。
- 区・自治会の加入のメリットを日々の生活のなかで感じにくいのが課題だととらえ、メリットの「見える化」が必要。
- 区・自治会と自治振興会の違いがわからない。



(2) 個別意見（抜粋）

- ①区・自治会の活動エリア以外の草刈りは、市に担ってほしい。区・自治会の行事（奉仕作業）を減らしたい。
- ②長年培ってきた集落の慣習（冠婚葬祭、神社祭典、草刈りなどの行事）を残しつつ、現代にあった形に見直す必要がある。
- ③20年後の地域を想像しても自分たちはいないので、計画を立てにくい。
- ④若い世代の区・自治会離れが加速している。若い世代が区の事業に参画してもらえない。
- ⑤地域との関わりが薄くなっても、防災訓練だけはしっかりとやるべき。
- ⑥区・自治会の組織率を高めるため、非加入世帯に対するデメリットやペナルティを与えられないのか。加入のメリットが感じられないのが課題。
- ⑦「次世代の活躍」「若い人材の確保」と聞くが、自分が30代の時に区長をするかといえばしたくない。現役を終えられた方が担うのが現実的。
- ⑧区・自治会と自治振興会の違いがわからない。この違いを理解しないと議論にならない。
- ⑨コミュニティビジネスへの支援をお願いしたい。
- ⑩児童の交通安全対策、通学路の整備を進めてほしい。
- ⑪PTA活動への参加は任意であることをしっかりと伝えてほしい。